

12回)ヲナス。之ヲ1「クール」トナシ、後約2月後ニ第2回ノ「クール」ヲ前回同様或ハ第1回量ヨリ少ナク(2/3)注射ヲナス。

2. ワ氏反應陽性期(感染後7週後)

此期ニ於テハ「ネオ・サルヅルサン」3.5—5.0gヲ1「クール」トシ、其ノ間ニ前同様1週2回水銀劑或ハ蒼鉛劑ノ注射ヲ併合スル。後2月ノ間隔ヲ置キ第2回ノ「クール」、場合ニヨリテハ(ワ氏反應尙陽性ナル時)第3回ノ「クール」ヲ續行スル。

第三期微毒ノワ氏反應陽性期ニ於テハ驅微療法ハ強度ニ之ヲ施行セナケレバ、仲スワ氏反應ガ陰性トナラナイコトガ多イ。

驅微療法ヲ「クール」ヲ重ネテ續行シ血清ワ氏反應ガ陰性トナリテモ、1—2年間ハ數ヶ月毎ニ血清ノワ氏反應ヲ檢シ、陽性ニ轉化セザルヤヲ追跡セナクテハナラス。不充分ナル驅微療法ハ屢々再發ヲ來スモノデアル。

【「サルヅルサン」劑ノ用量】

靜脈内注射一回量gハ成人男子ニ於テハ、0.3—0.5、女子ニハ、0.2—0.4、小兒ニハ0.1—0.2、哺乳兒ニハ0.02—0.05ト云ハル。體重1「キログラム」ニ對シ0.005—0.01gヲ普通平均量トサレル。勿論最初ハ注射量ヲ小ニシテ後増量シ、又症狀・時期ニヨリ増減スルハ勿論デアル。

「ネオサルヅルサン」及「サルヅルサンナトリウム」ハ「サルヅルサン」2ニ對シ3ノ割ニ用フル。

【ワ氏反應ノ誘發 Provokation】

(誘發的注射 provokatorische Injektion)

潜伏微毒ノ診斷ニ、又驅微療法ニヨリ微毒反應ガ陰性トナリ、治療ヲ止メントスル時ニ行フモノデアル、即チ「ネオ・サルヅルサン」0.4—0.5ヲ注射シテ、注射第1日及第5—6日ニ採血、其ワ氏反應ヲ檢スルモノデアル。

【蒼鉛劑ト水銀劑】

兩者ハ共ニ單獨ニ驅微療法ニ用ヒラレルコトハ少ナイ、「サルヅルサン」、「ネオ・サルヅルサン」ト伍シテ最も屢々複式療法ノ形式デ用ヒラル。此兩者ノ驅微作用ノ優劣ハ遽ニ決シ難イ。患者ノ過敏體質ニヨリテ水銀ノ用ヒラレザルモノニハ蒼鉛劑ヲ使用シ、又蒼鉛劑ハ神經微

毒ニハ比較的良效ヲ示ストモ云ハル、又一般ニ腎臟刺戟、口内炎等ノ副作用ハ水銀劑ヨリ輕度ト云ハレル。

【驅微療法ニ對シテ抵抗強ク、ワ氏血清反應ノ陰性化ヲ容易ニナサザル場合】

生體ヲ刺戟・賦活シテ生物機能振作、細胞原形質賦活ヲナス。

發熱療法ヲ驅微療法ニ併合スル。「マラリア」接種、「ツベリクリン」其他諸種「ワクチン」、「ヌクレイン」酸「ソーダ」、再歸熱、鼠咬症「スピロヘータ」接種等ガ行ハレル。蛋白、「リポイド」等ノ抗原性物質ノ注射ニヨル變調・賦活モ試ミラレル。

水銀軟膏塗擦ハ又水銀劑ノ驅微作用ノ他、皮膚ヲ擦傷シ、皮膚ヲ刺戟スルノミナラズ、又傷害皮膚ヨリノ一定自家變性物質ノ吸收ニヨル變調劑ノ作用モ發揮スルモノト考ヘラル。

【「サルヅルサン・ナトリウム」】

「サルヅルサン」ニ苛性「ナトロン」ヲ加ヘタルモノト同一ノ化學組成ヲ有シ、10—20cc新鮮ナル滅菌蒸溜水或ハ0.6%食鹽水ニ溶解(弱「アルカリ」性、美麗ナル黄金色透明液、10—20%ノ割ニ溶解ス)シテ濃厚液靜脈内注射ヲ行フ。

【「ネオサルヅルサン」】

0.15gニ對シ0.6%滅菌食鹽水ヲ約2.5ccノ割ニ溶解スル、中性反應ヲ呈ス。

近來ハ操作ノ簡單ナル「サルヅルサン・ナトリウム」、「ネオサルヅルサン」等ノ所謂濃厚注射ガ一般ニ行ハレテ居ル。

【「サルヅルサン」劑ノ副作用】

「サルヅルサン」ハ砒素化合物デアル、從ツテ其ノ副作用ハ急性乃至亞急性砒素中毒症ニ一致スル。

1. 局所性副作用

靜脈内注射ニ於テ皮下ニ漏レタル時、皮下、筋肉内ニ注射シタル場合一硬結、化膿、壞疽。

(治療)一注射後注射部位ノ輕キ「マッサージ」、濕布。發生後ハ化膿促進、切開。

2. 全身性症狀

- a. 注射後數時ニシテ現ハルモノ、一發熱、惡心、嘔吐、惡寒、戰慄、呼吸困難、癢痒、蛋白尿、黃疸(早發性黃疸)等。
- b. 注射後數日乃至十數日後或ハヨリ以後ニ現ハレルモノ—「サルヅルサン」疹、黃疸(晚發性黃疸—肝臟再發)、多發性神經炎、神經再發、心臟障碍、精神障碍等。

【「サルヅルサン」劑ニ過敏ナルモノ】

1. 注射中既ニ、又注射後間モナク「アルレルギー」性ニ亞硝酸「アミル」中毒様ノ症狀即チ血管神經障碍ノ諸症狀ヲ一過性ニ示スコトガアル。
2. 第2期微毒ニ於テ注射後ニ微毒疹ガ發赤ヲ増シ、増悪ノ兆ヲ示ス、コノ矛盾結果 Kontraeffekt ヲ Jarisch-Herxheimer 氏現象ト云フ。之レハ撲滅サレタ「スピロヘータ」ノ菌體內毒素ニヨルトモ、又藥量不足シテ殘存セル「スピロヘータ」ノ刺戟現象ナリト云ハル。(神經及肝臟)再發症ト共ニ驅微療法ヲ強行シテ可ナルモノデアル。

【「サルヅルサン」劑注射ノ禁忌】

1. 重症心臟疾患、高度ノ動脈硬化症。
2. 肝臟實質疾患。
3. 腎臟疾患。
4. 重症ナル糖尿病、肺結核。
5. 高度ノ貧血、アヂソン氏病、胸腺淋巴體質等。

【「サルヅルサン」劑中毒ノ豫防ト治療】

豫防

「サルヅルサン」ヲ自家血清、鹽化「カルシウム」液(1.0%)、次亞硫酸「ソーダ」液(10%)、高張葡萄糖液(10-30%)或ハ「プロカノン」、「ストロンチウラン」等ニ溶解シテ注射料トスル。

治療→解毒劑

「ストロンチウラン」、高張葡萄糖液、硫酸「アトロピン」、鹽酸「エビレナミン」液、「チオ」硫酸「ソーダ」、「カルシウム」劑等ガ用ヒラル。

II 淋疾 Gonorrhoe, Tripper

→治淋劑、殺菌消毒劑、「ワクチン」。

III Weicher Schanker 軟性下疳

→橫痃治療劑、殺菌消毒劑、消炎劑。

IV Nicolas-Favre's Krankheit, Lymphogranulomatose inguinale subaigue, Lymphogranulomatosis inguinalis ニコラ・ファージェル氏病、第四性病。

→橫痃治療劑、消炎劑、「ヂストマ」病治療劑、結核療劑中金製劑。

化學療法劑 Chemotherapeutica,
Mittel der Chemotherapie

一般ノ藥理作用 pharmacodynamische Wirkung = ヨリテ效果ヲ現ハス藥劑ノ化學物質ヲ指スノデナク、一定病原體ニ特異ナル親和力ヲ有シ之ニ作用シテ其生活能ヲ弱メ隨ツテ其病原體ニヨリテ起リタル異常生活現象即チ疾病ヲ治療セントスル「一定病原體ニ對スル特異ナル一定化學物質」ヲ指シテ居ル。在來コノ化學療法劑ハ初メ原蟲類ニ於テ研究ガ續ケラレ、後「スピロヘータ」・肺炎菌・連鎖狀球菌・葡萄狀球菌・淋菌等ヘト擴大サレテ來タ。一定病原體ノ菌性療劑(抗血清 Antiserum, Immuneserum 即チ治療血清 Heilserum 或ハ「ワクチン」類)ハ當該疾患病原體ニ特異ニ作用スルモノデアルガ之ハ化學療法劑ト全然區別サルベキ免疫療劑 Immunotherapeutica デアル。

今化學療法劑ヲ列記スルニ當リテ其理論ヲ通徹セシメル爲メニ非溶性ノ經口的藥劑モ便宜上列記シタ。

1. 金製劑 Goldpräparate

結核、癩病、微毒、第四性病(鼠蹊淋巴肉芽腫症)、多發性硬化症等ノ病原體ニ化學療法劑トシテ用ヒラレルガ未ダ以テ特異ノ作用ヲ現ハスト斷ズルコトハ出來ナイ。

→39 結核劑ノ中「金製劑」(142頁)

【例】

Aurophos 「アウロフォス」(Bayer)
金ノ有機化合物ト燐トヨリナリ、
水ニ易溶、金ノ含有 27.3

Lopion 「ロピオン」(Bayer)

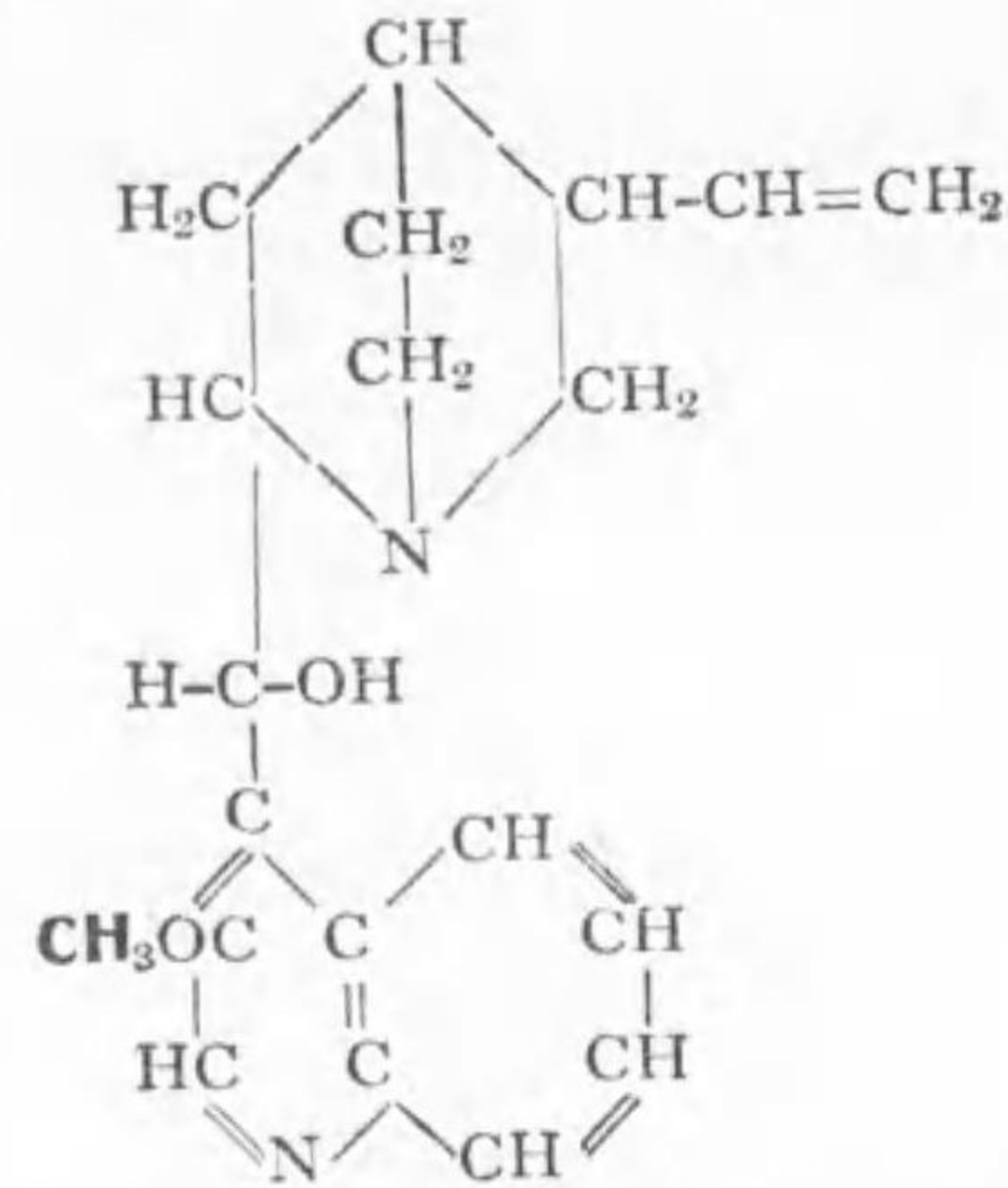
Sanocrysin 「サノクリジン」

Solganal B. Oleosum 「ソルガナール」(Schering)

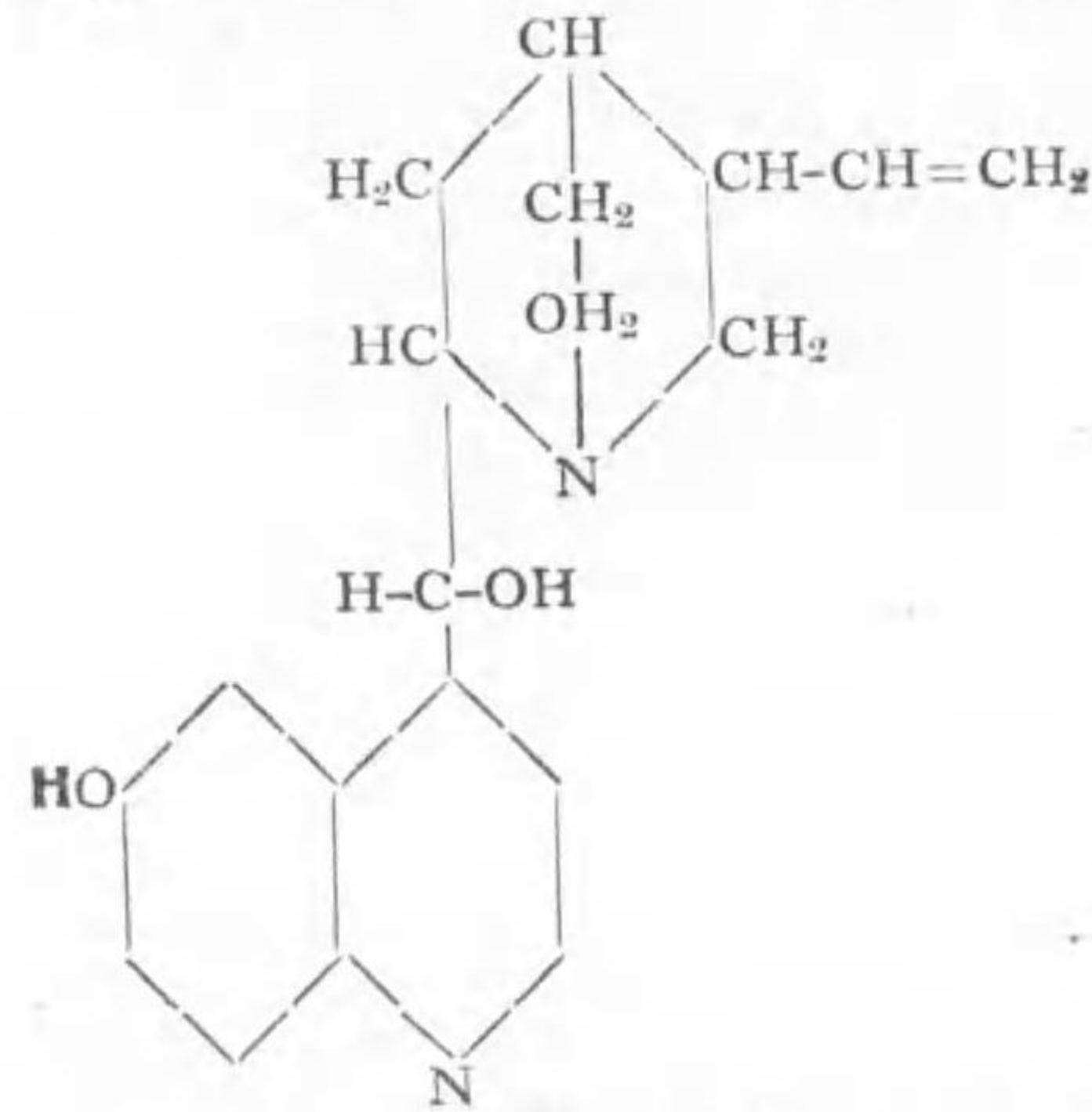
Tryphal 「トリファール」(Höchst-Bayer)

2. 「キニーネ」及「ヒノリン」誘導體
Chinin und Chinolinderivate

→10. 解熱劑(「ヒノリン」誘導體・「キニーネ」屬) 38頁 「キニーネ」
Chinin(um) $C_{20}H_{24}N_2O_2 \cdot 3H_2O$



「キニーネ」Chinin = 「メチル・クブレイン」Methyl-cuprein



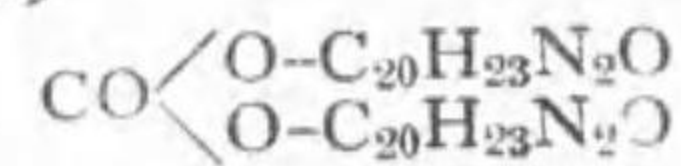
「クブレイン」Cupurein $C_{19}H_{22}N_2O_2$ (Hydroxycinchonin)

a. キニーネ劑

Aristochin 「アリストヒン」

「キニーネ」中性炭酸「エステル」
neutrale Kohlensäureester des
Chinins (Dichininkohlensäure-

ester)



純品ハ水 = 不溶

Chininharstoff, Ch'ininum bi-

muriatum carbamidatum s.
ureatohydrochloricum 鹽酸
「キニーネ」尿素 $(C_{20}H_{24}N_2O_2)_2 \cdot$
 $HCl + CO(NH_2)_2 \cdot HCl + 5H_2O$

Chininum hydrobromicum 「プロ
ム」水素酸「キニーネ」 $C_{20}H_{24}N_2$
 $O_2 \cdot HBr + H_2O$ (硫酸「キニーネ」=
準ズ)

Chininum hydrochloricum ⑤鹽
酸「キニーネ」 $C_{20}H_{24}O_2N_2 \cdot HCl +$
 $2H_2O$

【性状】 34分ノ水ニ可溶, 「ウレタ
ン」・尿素・「アンチピリン」等ヲ
添加スル時ハ其溶解度ヲ増ス。

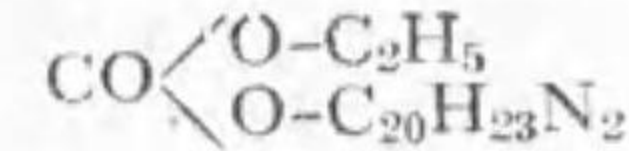
Chininum sulfuricum, ⑤硫酸「キ
ニーネ」 $(C_{20}H_{24}N_2O_2)_2 \cdot H_2SO_4 +$
 $8H_2O$

【性状】 水ニ難溶(約 800 分ノ水
ニテ溶解シ, 又熱湯 25 分ニ溶
解ス)

重硫酸「キニーネ」(酸性硫酸「キ
ニーネ」 $C. disulfuricum C_{20}H_{24}$
 $N_2O_2 \cdot SO_4 + 7H_2O$

Chininum tannicum ⑤「タンニ
ン」酸「キニーネ」(硫酸「キニー
ネ」=準ズ, 水ニ僅カニ溶解ス)

Euchinin 「オイヒニン」(「キニー
ネ」炭酸「エチルエステル」Kohl-
ensäureäthylester des Chinins)
⑤「エチル」炭酸「キニーネ」Chin-
inum aethylcarbonicum C_2H_5
 $O \cdot CO_2 \cdot C_{20}H_{23}N_2O$



純品ハ水ニ殆ンド不溶, 從ツテ無
味

Salochinin 「サロヒニン」 「サリ

チル」酸「キニーネ」Chininum
salicylicum $2C_{20}H_{24}N_2O_2 \cdot C_7H_6$
 $O_3 + H_2O$

b. 「ヒドロクブレイン」Hydrocu-
prein 劑

Eucupin (「オイグビン」(Zimmer),
Isoamylhydrocuprein
「デフテリア」菌ニ對シ局所的殺
菌作用ヲ有シ外用ニ供サル。
E. basicum ハ水ニ不溶, E. bi-
hydrochloricum ハ水溶性。

Optochin 「オプトヒン」(Zimmer),
Aethylhydrocuprein (Morgenro-
th 1911)

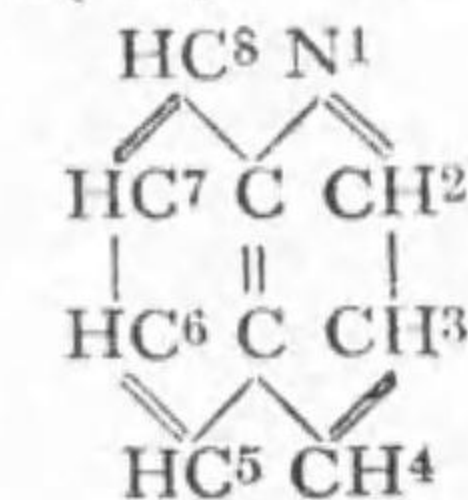
又鹽基性「オプトヒン」Optochin
basicum (Zimmer) アリ, 製劑トシ
テハ「タンニン」酸「オプトヒン」
ハ水ニ難溶ナルモ鹽酸鹽ハ可溶
ナリ。

Remijin 「レミジン」(三共) 前者ニ
準ズ。

Vuzin 「ヴチン」(Zimmer), Isooctyl-
hydrocuprein $(C_{27}H_{40}N_2O_2 + 2$
 $H_2O)$ 二鹽酸鹽 V. dihydrochl-
oricum ガ屢々用ヒラルル深達作
用大ナル創傷防腐劑, 邦製品ニヴ
チノール」Vuzinol (第一製藥)ア
リ。

c. 「ヒノリン」誘導體

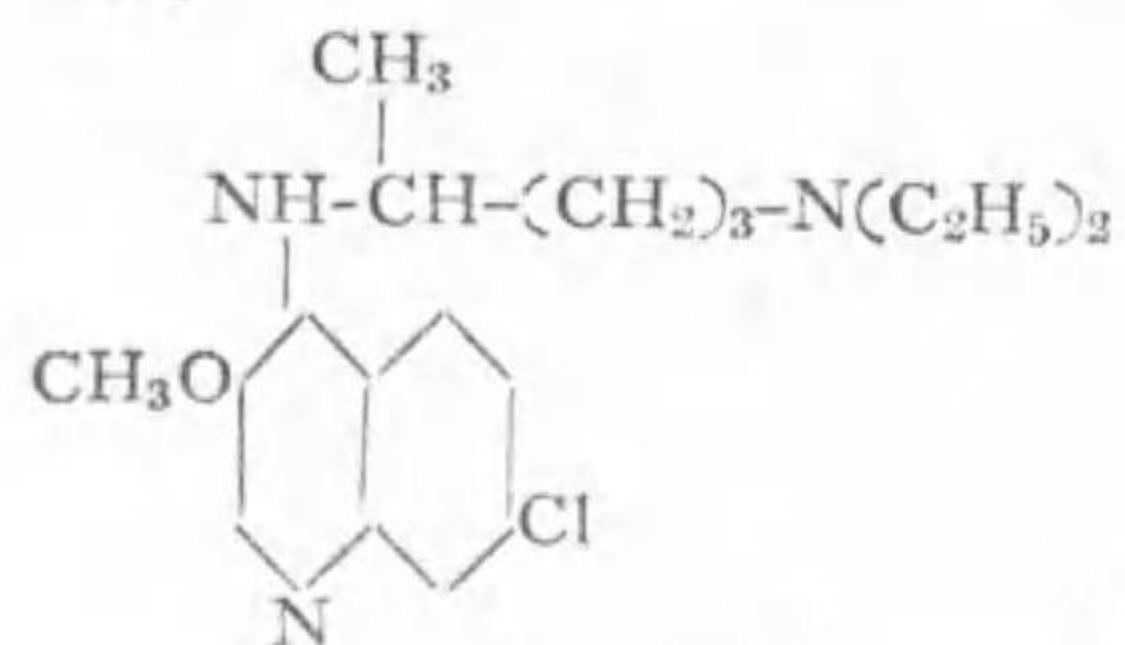
Ch'nolin(um) 「ヒノリン」 C_9H_7N



「ヒノリン」Chinolin

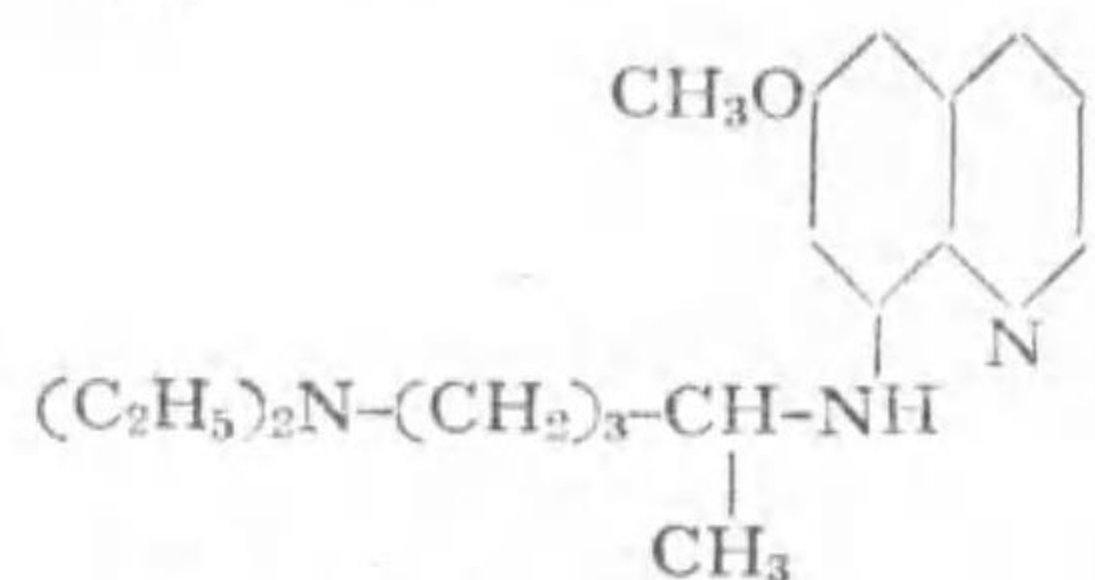
「ヒノリン」ハ解熱作用ノ他ニ麻酔作用ヲ有シ虚脱ヲ起ス惧アルタメ側鎖ニ諸種ノ基ヲ入レタル誘導體ガ用ヒラレル

Atebrin 「アテブリン」(Bayer) 特異ニ「マラリア」原蟲ニ働ク →73頁。



Atebrin (Mietzsch u. Mauss 1930)

Plasmochin 「プラズモヒン」(Bayer) 特ニ「マラリア」原蟲ニ働ク →10頁。



Plasmochin (Schulemann 1924)

Alkylaminomethoxychinolin

Chinolinum salicylicum, 「サリチル」酸「ヒノリン」 $C_9H_7N-C_7H_6O_3$

鎮痛(百日咳)・防腐劑トシテ内服ニ又淋疾ニ外用ス。

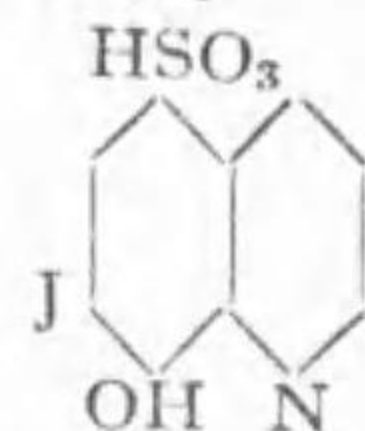
C. sulfocyanatum s. rhodanatum 硫「シアン」化「ヒノリン」治淋注入劑(1%)

C. sulfosalicylicum, Erscol P.

runier 「スルホサリチル」酸「ヒノリン」 $C_6H_3-SO_4H-OH-COOH-C_9H_7N+H_2O$

C. tannicum 酒石酸「ヒノリン」 $(C_9H_7N)_3-(C_4H_6O_6)_4$ 防腐劑, 解熱劑, 治淋外用劑

Yatren 105 「ヤトレン」(Bayer) 7-Jod-8-oxy-chinolin-5-sulfosäure+NaHCO₃ 防腐劑 →77頁。



【附】

Atophan 「アトファン」(Schering), 2-Phenyl-Chinolin-4-karbonsäure $C_{10}H_7NO_2$, ㊦「キノフェン」 Quinophenum, 痛風劑

Atophanyl 「アトファンニール」(Schering) 「アトファン」ノNa鹽ト「サリチル」酸「ソーダ」ノ混合溶液 →52頁。

3. 「アンチモン」 Antimon 製劑

「アンチモン」ハ下記ノ相當多數ノ「特殊病原體」ヲ有スル疾患ニ用ヒラレル。今其ノ特異ニ作用サレル其病原體ヲ列擧スレバ次ノ如クデアアル。

i) **Leishmania** 「レイシマニア」屬

L. Donovanii ドノヴァン氏「レイシマニア」(「カラ・アザール」病原體)

L. tropica (brasiliensis, furunculosa) 熱帯「レイシマニア」

ii) 第四性病 **vierte Geschlechtskrankheit, Nicolas-Favre'sche Krankheit, Lymphogranulomatosis inguinalis** ノ病原體 (確定ニ到ラズ) →重要適應一覽 185頁。

iii) 「トリパノゾーマ」(睡眠病 Schlafkrankheit) ノ病原體 Trypanosoma gambiense, Trypanosoma rhodesiense)

本病原體ニ對シテハ尙次ノ化學療法劑ガアル

Germanin 「ゲルマニン」(Bayer) Harnstoff-di-m-aminobenzoyl-m-amino-p-methylnaphthylamin-4-6-8-Trisulfosäure

Atoxy! 「アトキシール」 Natrium arsanilicum $C_6H_7AsO_3$ NNa

「アンチモン」Sb 製劑ハ其他肺及肝「チストマ」, 日本住血吸蟲, 軟性下疳菌等ニモ作用スルモノデアアル。

「アンチモン」製劑

各製劑ハ索引ヲ用ヒテ参照サレタシ。

→29. 驅蟲劑 92頁, 横痃治療劑 154頁。

【例】

Antimonial 「アンチモナル」(鹽野義)

Bubolysin 「ブポリジン」(三共)

Fuadin 「ファジン」(Bayer)

Mirth-Antimon 「ミルスアンチモン」(丸石)

Neo-Stibarsan 「ネオスバルサン」

(萬有)

Stibnal 「スチブナル」(萬有)

外國製品ニ下記ノモノガアル(主トシテ環狀有機化合物デアアル)

Stibosan 「スチボサン」

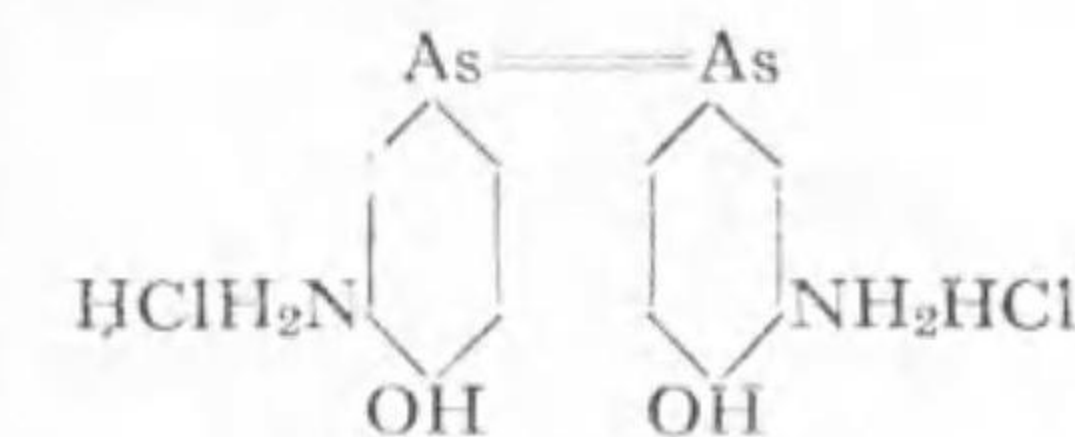
Neo-Stibosan 「ネオ・スチボサン」

Stibenyl 「スチベニール」

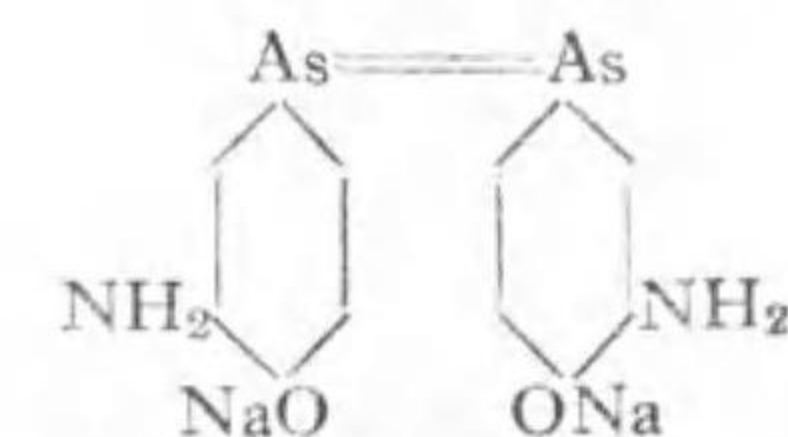
Neo-Antimosan (Fuadin) 「ネオ・アンチモサン」(「ファジン」

4. 砒素化合物製劑

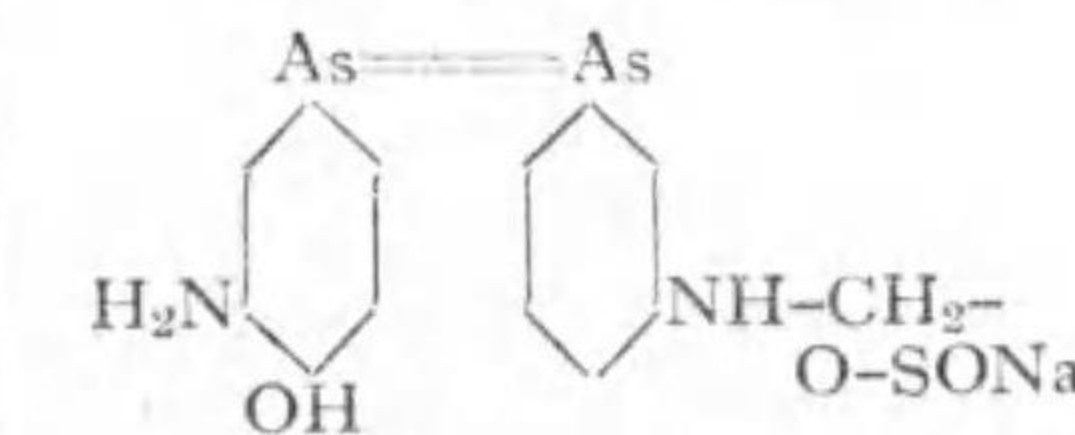
一定砒素化合物中 特ニ化學療法劑トシテ重要ナルハ Ehrlich-Hata 兩氏ノ「サルバルサン」 Salvarsan, ㊦「アルゼノベンゾール」 Arsenobenzolum 及ビ其誘導體デアアル。→38驅微劑 Antiluetic 133頁。



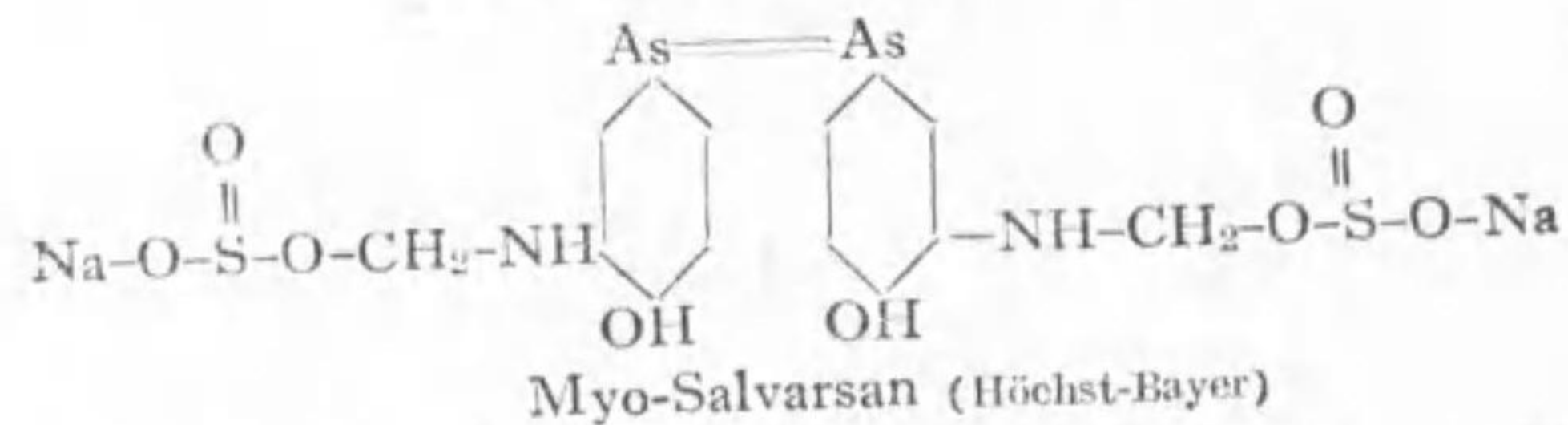
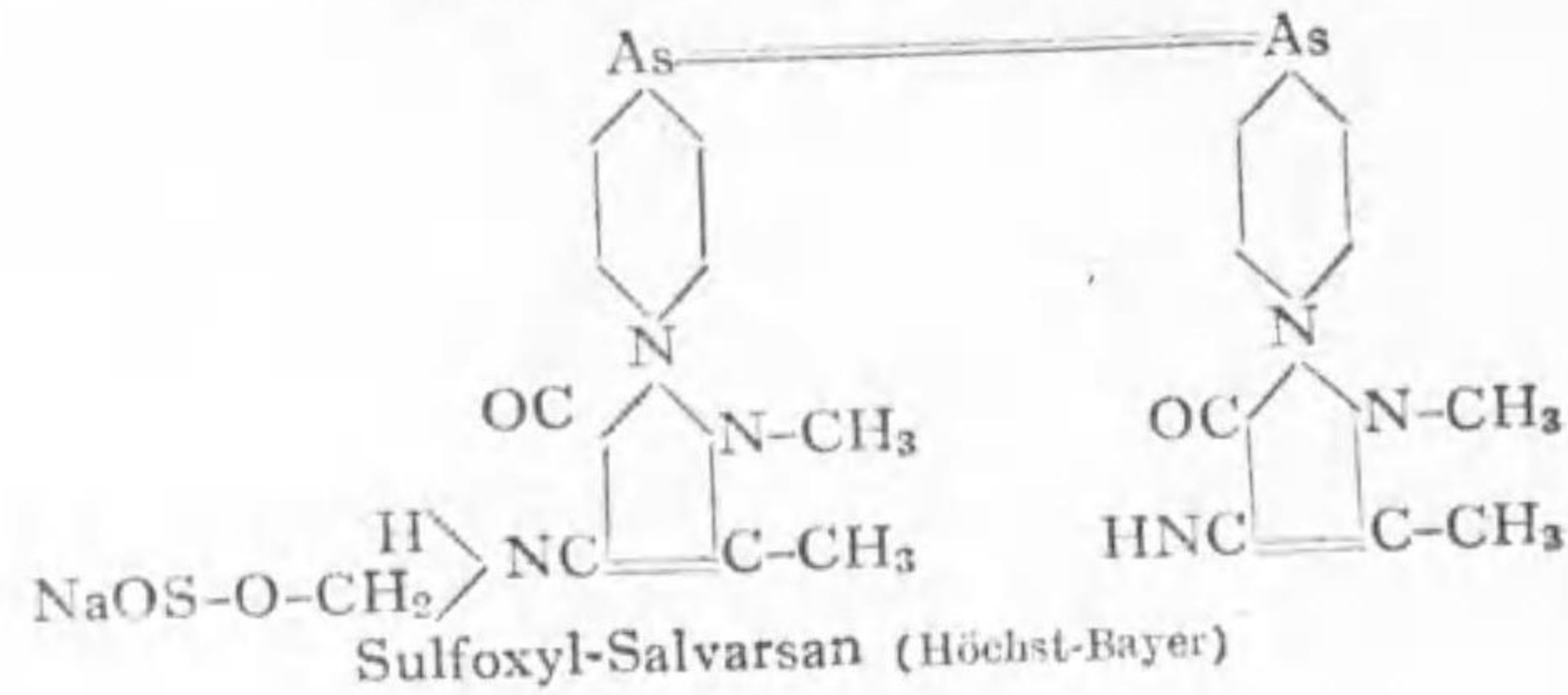
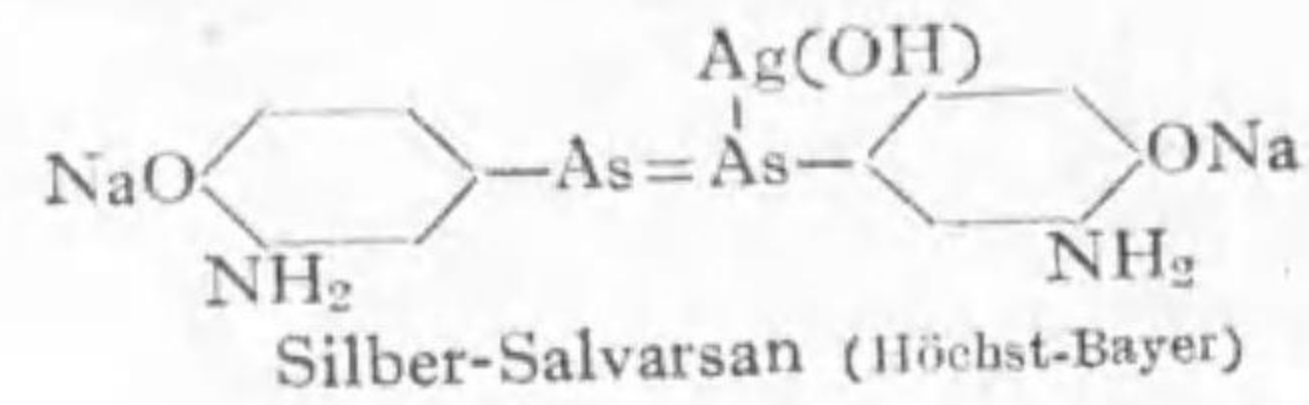
Salvarsan (Bayer) (Arsenobenzolum)



Salvarsan-Natrium (Bayer) (Arsenobenzol-natrium)



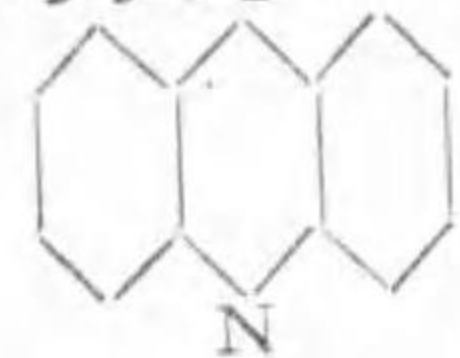
Neo-Salvarsan (Bayer) (Neo-Arsenobenzolum)



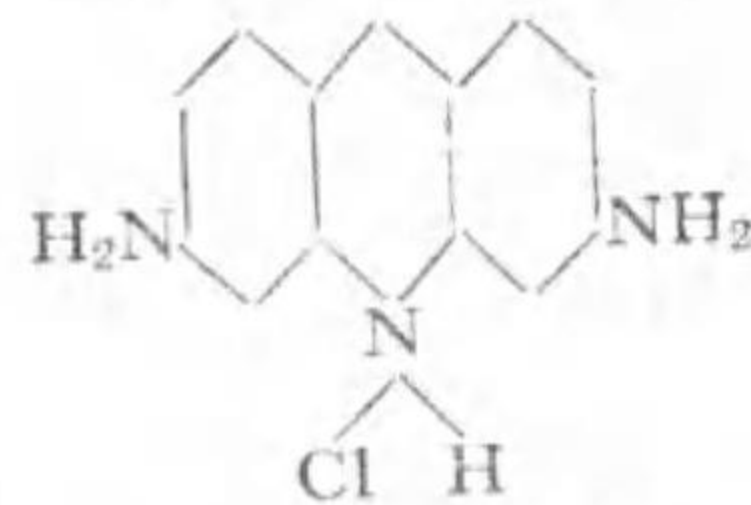
5. 廣義ノ色素製劑

身體内ニ於ケル(深部)化膿菌ニ指示サレタルモノ → 17. 殺菌消毒劑 → 0 頁。

a. 「アクリチン」Acridin 誘導體



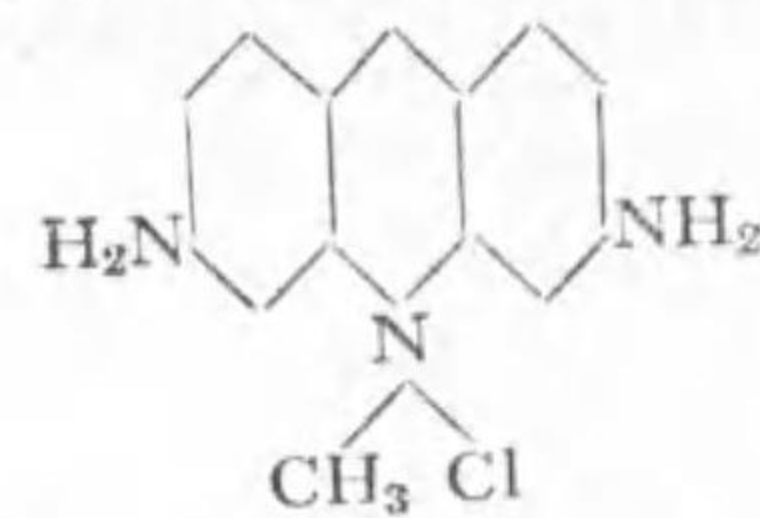
(「アクリチン」核)



「アクリチン」誘導體ノ母體
Diamino-acridinchlorid

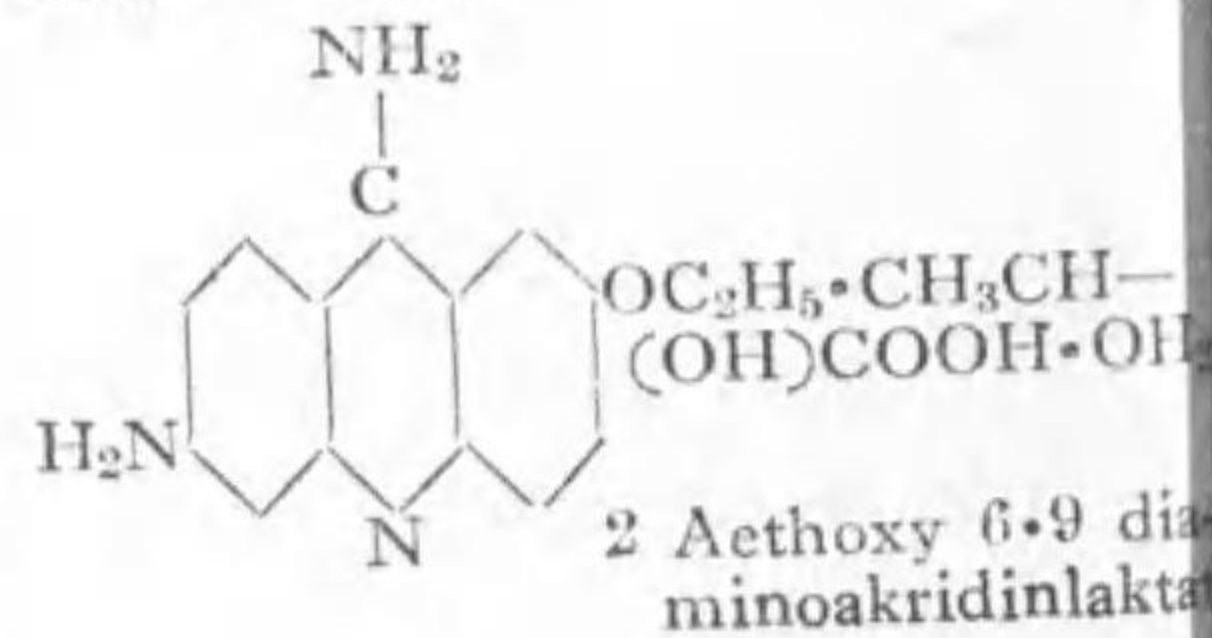
Trypaflavin 「トリパフラビン」

(Bayer), 3·6-Diamino-10-Methyl-acridinium-chlorid → 75 頁。



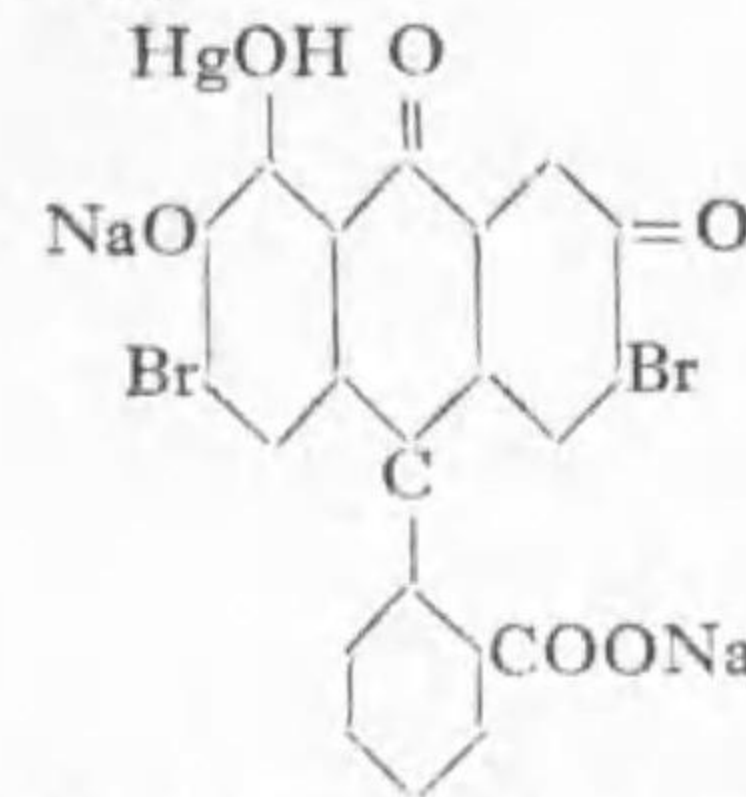
Rivanol 「リゾノール」(Heyden-Bayer)

2 Aethoxy-6·9-Diaminoakridin-laktat → 74 頁。



[附]

Mercurchrom 「マーキュロクロム」(Young), Dibromoxymercurifluorescein ノ「ナトリウム」鹽 → 76 頁。



(「アクリチン」誘導體ニ非ズ、水銀化合物)

b. 特ニ連鎖狀球菌(葡萄狀球菌、淋菌等)ニ作用スル

「スルフォンアミド」, 「スルフォン」酸基ヲ有スル「アゾ」色素劑

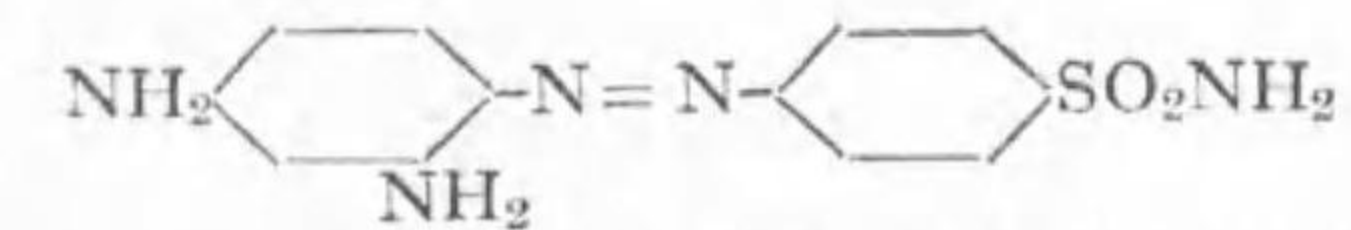
[註]

Sulfonamid(sulfanilamid)

—SO₂NH₂ 基

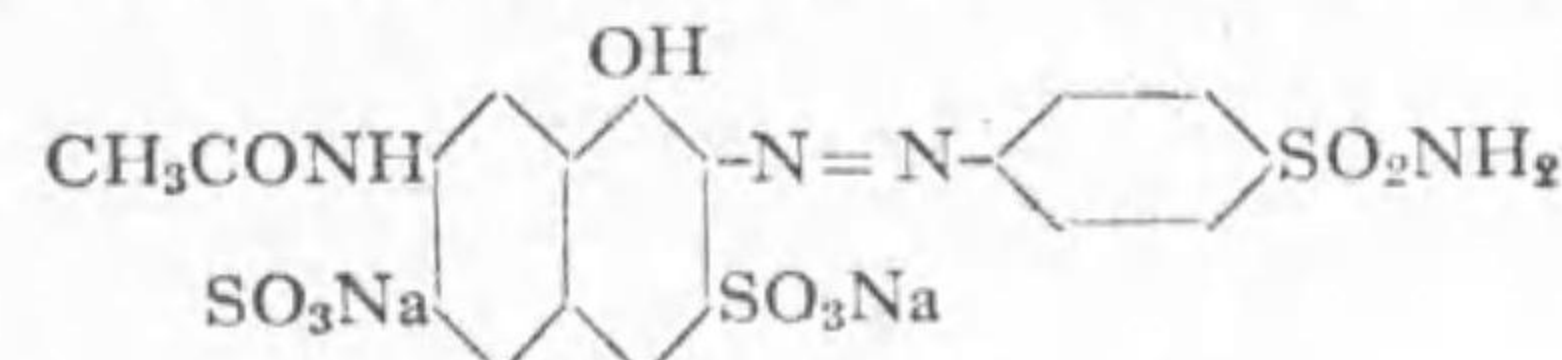
—N=N— ヲ「アゾ」Azo 基ト云フ

Prontosil rubrum 赤色「プロントジル」(Bayer)



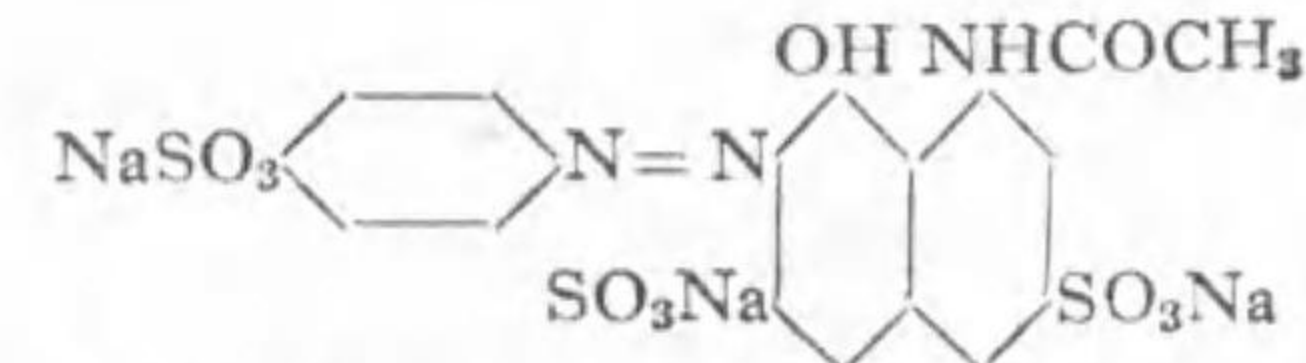
紅色結晶ニシテ水ニ0.25%ニ溶解シ、熔融點ハ247-251度、特許ヲ得テ居ル製劑デアル。

Prontosil soluble 可溶性「プロントジル」(Bayer) → 76 頁。

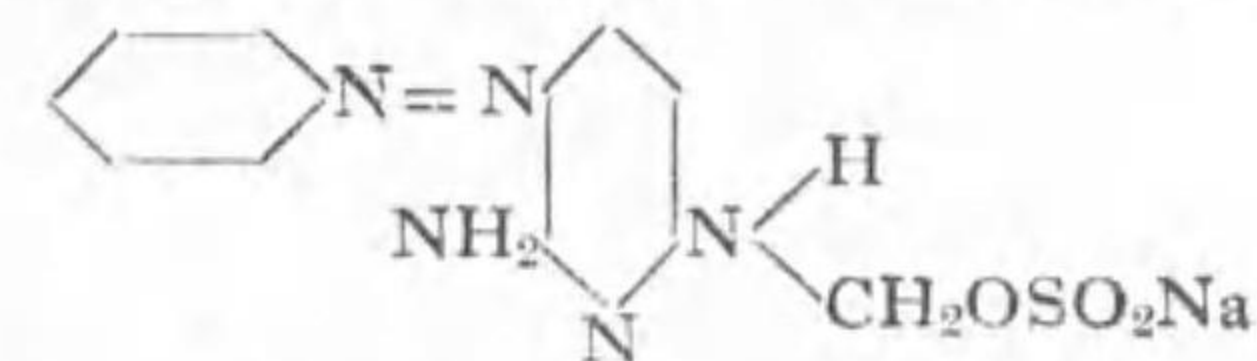


Aktisol rubrum 赤色「アクチゾール」(鹽野義)

[成分]



Phenylazo-acetylamino-oxynaphthalin-trisulfonsaures Natrium



β-Phenylazo-α-α-diaminopyridinmethansulfonsaures Natrium

上記2成分ヲ2.5%ノ割ニ食鹽水ニ混溶シタルモノニシテ靜脈内及筋肉内ニ注射サル

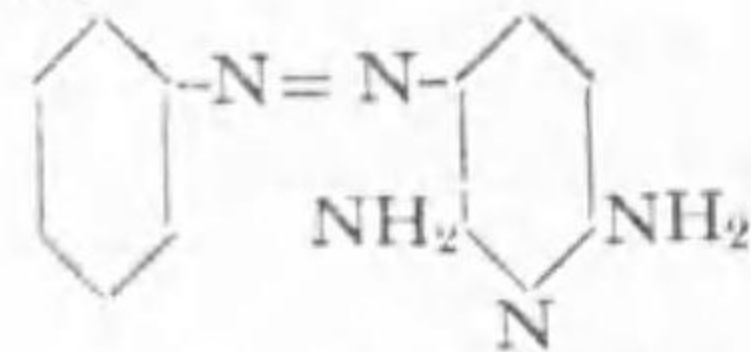
【附】

「ピリヂン」Pyridin 誘導體ノ「アゾ」化合物

「ピリヂン」C5H5N

Pyridium 「ピリヂウム」(Boehringer) →76頁

【成分】



Phenylazo-a-a-diaminopyridin ノ鹽酸鹽、赤色ノ粉末、水ニ可溶 國産品=「ピリパン」Pyripan (田邊) 「タルタリン」Taltarin (鹽野義)



4-(4'-Aminophenylsulfonamid) benzolsulfondimethylamid 粉末、錠トシテ用ヒラレ、水ニ溶解シ難ク稀「アルカリ」ニハ易溶、熔融點ハ193-195度。

【同邦製品】

- Albasil 「アルバジル」(山之内)
- Disseptal 「ヂセプタール」(中外)
- Domiklin 「ドミクリン」(日新醫學)
- liron 「イトロン」(岩城)
- Musolin 「ムソリン」(コメツト, 黒田)

【類似製劑】

Disseptal B 「ヂセプタール」B (DB 89)

4-(4'-Aminobenzolsulfonamid)-benzolsulfonmonomethylamid



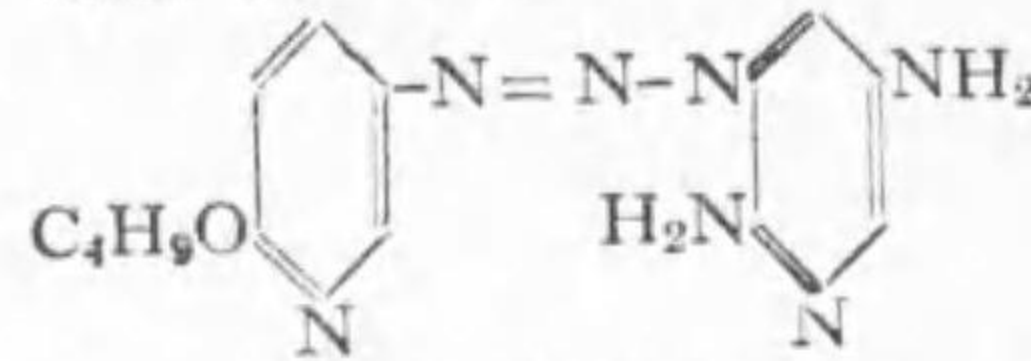
邦製品「アナビオン」Anabion (大日本製藥)

Disseptal C 「ヂセプタール」C (DB 82)



アリ →77頁。

Neo-Tropin 「ネオトロピン」(Scheering) (注射液ナシ) 泌尿系細菌性疾患ニ用ヒラル。



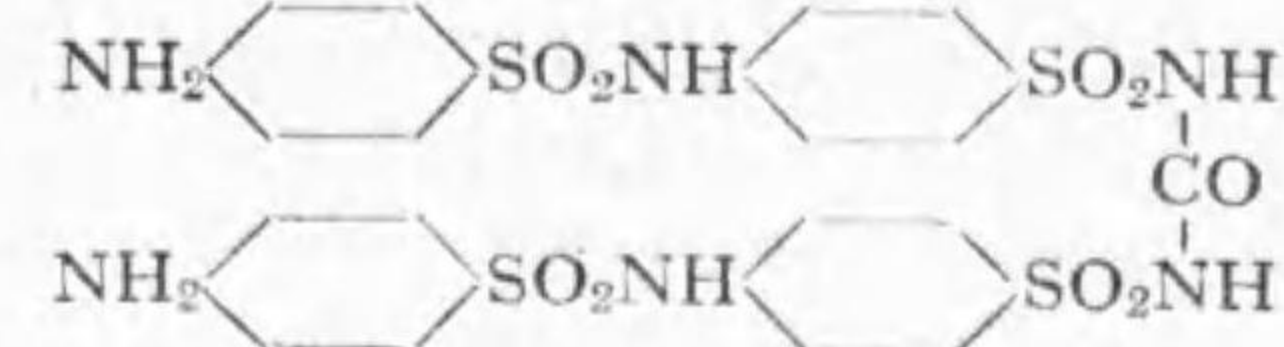
2-Butyl-oxy-2'-6'-diamino-5-5'-azo-pyridin

「スルフォンアミド」化合物

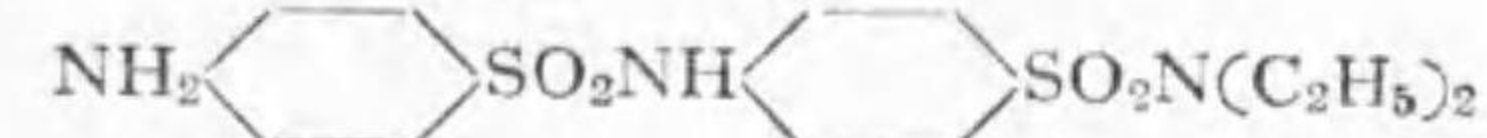
- i) Uliron 「ウリロン」(「ヂセプタール」A Disseptal A DB 9) (Bayer) 日本市販名 Uleron

- Neo-Adamisil 「ネオ・アダミジル」(大羽)
- Neo-Tolder 「ネオ・トルダー」(大木)
- Poleon 「ポレオン」(日染, 稻畑)
- Urinogen 「ウリノーゲン」(鹽野義)
- Yuron 「ユーロン」(萬有)

Phonocasil 「フォノカジル」(山之内)

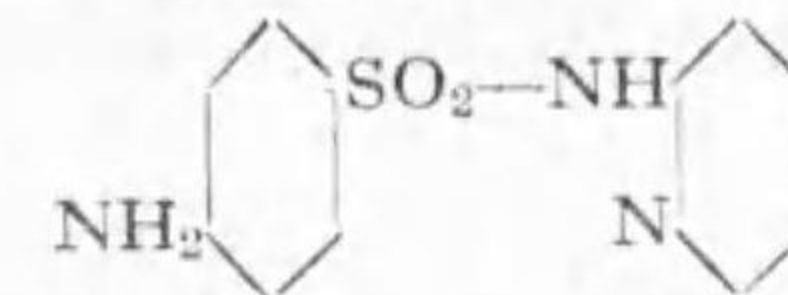


Urisol 「ウリゾール」(大日本製藥)



Sulfapyridin 「サルファピリヂン」 M & B 693

(Pharmaceutical Specialities Ltd; May and Baker) 2-Sulphanyl-Aminophridine



肺炎菌・淋菌・溶血性連鎖状球菌ニ對スル化學劑トシテ 英米ニ於テ用ヒラル。

ii) Prontosil album 白色「プロントシル」(Bayer)

【成分】「パラアミノベンゾールスルフォンアミド」 p-Aminobenzolsulfonamid



水ニ難溶無色針状結晶、熔融點163度。

本製品ハ特許ヲ得テ居ナイ、随ツテ續テ多數ノ同成分製劑ガ市販ニ出タ。今ABC順ニ列記スレバ下ノ如シ。内服用(粉末ト錠劑)ト注射料トガアリ、後者ハ5%溶液トシテ2ccノ「アンプル」入りトナスモノガ多イ。水ニ難溶ナレドモ稀釋鹽酸・「アルコール」ニ溶ケル。各社「アンプル」溶媒ハ各々秘スル獨特ノモノデアアル。

【適應】化膿性疾患(連鎖状球菌ヲ主トシ葡萄状球菌・淋菌), 第四性病(鼠蹊淋巴肉芽腫)

【同邦製品】

- Adamisil 「アダミジル」(大羽)
- Adolon 「アドロン」(日曹)
- Aktisol Weiss 白色「アクチソール」(鹽野義) (注射液ナシ)
- Antikokken 「アンチコッケン」(興亞)
- Bergenal 「ベルゲナール」(吉田)
- Besmen 「ベスマン」(ダルソ) (注射液ナシ)
- Erytrin 「エリトリン」(山川) (p-Acetylamino-phenylsulfonamid)
- Gerison 「ゲリソン」(山之内)
- Lusil 「ルジール」(武田)
- Nipron 「ニプロン」(コメツト, 黒田) (注射液ナシ)
- Pangesil 「パンゲジール」(廣藪)
- Paramidyl 「パラミヂール」(柳韓) (注射液ナシ)
- Plenin 「プレニン」(日染-稻畑) (注射液ナシ)
- Ponsil 「ボンジール」(萬有)
- Pronbal 「プロンバル」(日新醫學)
- Pronsirose 「プロンジローゼ」(日

本醫藥)

- Proseptin 「プロセプトン」(三共)
(注射液ナシ)
- Prosil 「プロジール」(鳥居)
- Pyolysin 「ピオリジン」(昭和製薬)
- Sepsorbin 「セブソルビン」(ラザウ
ム製薬)
- Septil 「セプチール」(日興) (注射液
ナシ)
- Stapron 「スタブロン」(藤澤) (注
射液ナシ)
- Sulfosil 「スルホジール」(岩城)
(注射液ナシ)

Therapol 「テラポール」(第一製薬)

Tolder 「トルダー」(大木)

Zaokin 「ザオキン」(アルス) (注射
液ナシ)

Zonal 「ゾナル」(新興理化学)

【用量】 1日1.0-1.5 錠, 大量投
與 1日3-7 錠

【副作用】 食慾障碍, 頭痛, 倦怠
感, 熱感, 嘔吐等。

【中毒】 麻疹様發疹, 「スルフォ」
血色素血症 Sulfohämoglobi-
nämie, 「メト」血色素血症 Me-
thämoglobinämie, 顆粒白血球
減少症 Agranulozytose 等。

Sachregister

A	
Aberly 94	Analeptica 9
Aberly B ₁ 94	Analgetica 43
Abrodil 150	Anaptin 31
Acacialösung 25	Anaptol 31
Acetylarsan 136	Anatoxine 131
Acetylcholin 27, 82, 152	Anatoxine Antidiphteri- que 131
Acidodin 79	Anatoxine Antitetanique 131
Acidosisheilmittel 79	Androsteron 109
Acoïn 61	Androstin 109
Acricol 67, 73, 154	Anemon 44
Acridin-präparate 73	Aneurin 94
Adeno-Spelzon 97	Angenen 53
Adiphorin 29, 145	Angiotonica 12
Adnaldin 23	Animasa 27, 102
Adnephtrin 23, 30, 37	Anocuron 153
Adonigen 19	Antasthol 30, 60, 105
Adrenalin Chloride 23, 152	Antereum 51, 52
Aether-injection 37	Anthelminthica 91
Aethylapochinin 40	Antialgin 54, 70, 153
Afenil 64	Antianaemica 146
Agomensin 111	Antiberiberin 94
Aklemin 102	Anticalolin 68
Aktcor 15, 36	Anticatarrhalische Mittel 64
Alcaloidum Opii hydro- chloricum 7, 43, 55	Anticholeric serum 119
Alcohol 55	Antidiarrhoica 89
Alival 146	Antidolorosa 43
Allestin 65, 73, 145	Antidyspnoica 35
Allocaïn S 61	Antieczman 80
Allopon 43	Antiemesis 78
Allopon-Scopolamin 43	Antiemetica 78
Altemidin 91	Antientin 68
Alt-Tuberkulin 124	Antienuresin 147
Aluessin 138	antierysipelas-Vaccine . 124
Alypin hydrochloricum . 61	Antifulgin 52, 69
Ameisin 54	Antigonorrhoeica 70
Amnesin 43	Antihidotica 29
Amöbendysenterieheil- mittel 92	Antihydropsica 25
Amphotropin-Lösung 6l. 70	Antihyperemin 78
Anaesulosin 87	Antiinfluenza-pneumo- kokken Vaccine 124
	Antileprol 149
	Antilueticum 133
	Antimohin 80
	Antineuralgica 50
	Antiozonin 78
	Antiseptica 70
	Antipestic serum 120
	Antiphlogistica 64
	Antiphthisica 142
	Antipuerperal Septicae- mica Serum 120
	Antipyrogene Yatren- Vaccine 125, 131
	Antipyretica 38
	Antipyrin 42
	Antityphoid serum 120
	Antirheumatica 50
	Antiseptica 70
	Antispasmodica 55
	Antistreptokokkenserum polyvalent 120
	Antisyphilitica 133
	Antithyreoidin 98
	Antitoxisches Coli-und Gasödem-Serum 121
	Antitoxische Mittel 79
	Antitoxisches Serum 115
	Antitrigol 125
	Antiurticol 66
	Antivenous serum 120
	Antivirus 131
	— Colibacilaire 132
	— Purperal 132
	— Staphylococcique 132
	— Streptococcique 132
	— Strepto-Staphylo- coccique 132
	Antuitrin 100
	A. O. 125
	Aphrodisiaca 108
	Apicur 54
	Apocampher 15
	Apomorphinum hydro- chloricum 78
	Apothesine 62
	Appetit anregende Mittel 88
	Arbetin 154

2 Sachregister

Argochrom	75
Argoflavin	73
Arsaminol	133
Arsemin	133
Arsenobenzolum	7, 133
Arsenobenzol-Natrium 7, 134	
Arsen-präparate	147
Arsimon	147
Arsoval	145, 147
Arsozon	145, 147
Arsylen	147
Arterioskleroseheilmittel 27	
Arthigon	125
Artogin	50
Ascaris betäubende Mittel 91	
Ascorbinsäure	96
Ascortin	96
Ascoyl	96
Asmon	36
Asputin	144
Asthmaheilmittel	35
Asthmolysin	106
Asudorin	29, 145
Atebrin	73
Atemonia	49, 52
Atiemetica	78
Atmulatin	10, 36
Atonin	24, 30, 100
Atophan-natrium	52
Atophanyl 41, 52, 69, 80, 91	
Atropin-Morphin	43, 56
Atropinum sulfuricum	29, 43, 56, 88, 152
Attritin	50
Aurenin	25
Autocampher	22
Autoserum	85
Autovaccin	123
Avihormon	105
Avitan	26
Azorubin S	152
B	
Bagnazin	39
Bagnon	37, 39, 50
— „Stark“	39
Bancaïn	61
Barbitalum solubile	7, 47
Barbitalum (Acidum diaethylbarbituricum) 47	
Barbitursäure = Malonylharnstoff	47
Benervit	95
Beriberol	94
Betaxin	95
Biochemica	152
Biosterin	93
Biscorogen	140
Bismogenol	140
Bismutin	140
Bismut-präparate	140
Bistolan	140
Bitanin	94
Blustin	31
Blutdruckerniedrigungsmittel	27
Blutersatzmittel	12
Blutgerinnung hemmende Mittel	29
Blutserum	32
Blut (Serum)-ersatzmittel	25
Bosmin	23
Brechmittel	78
Brenzchin	29, 69, 144
Brocanon	58, 68
Brocose	58, 145
Brodexin	58, 145
Bromag	58, 80
Brom-Calciol	64, 145
Brom-Calcium Lösung	58, 68, 78, 145
Brom-Grelan	47, 58, 68
Brom-Iveton	21, 58, 68
Brom-präparate	58, 68, 83
Bromstrontium	59
Brom-Tetragnost	150
Bronatrin	58, 78
Bros-Lodinon	59, 68, 83
Bubolysin	154
Bubonenheilmittel	154
Bubonol	155
Bufotalis	19
Bulbocapnin	61

C

Cacatin	66
Cacodylate	148
Cacodylin	148
Calcibronat	64, 83
Calci-Calben	71
Calcicol	21, 68, 145
Calcisol	33
Calcium chloratum 33, 65, 80	
Calciumpräparate	64, 83
Calcium-salicylate	65
Calcium-Sandoz	67
Caldexan	68
Calflavin	73
Calglin	68, 145
Calkose	33, 68, 80, 145
Calonasin	14
Camafeton	14
Camdenin	21
Camnaphor	14
Camperol	69
Campfer	2
Campfer-Präparate 11, 14, 51	
Camporisin	51, 69
Cantan	97
Cantan forte	97
Capyralsan	50, 69
Capuhormon	105
Carbol-derivate	41
Cardiazol	15
Cardinon	22, 54
Cardiaca	12
Cardioangiotonica	12
Carnodol	14
Carotin	93
Casbis	140
Caseinol	85
Caseosan	85
Cebion	97
Cephadol	27, 60
China-Brocanon	39
Chineron	39
Chinidlin	37, 40, 50, 145
Chinin-Calcium	40
Chinolin-derivate 39, 50, 107	
Chishiho	30

Sachregister 3

Chlocaffavin	73
Chlodexin	33, 65, 145
Chlonacal	33
Chlonatol	33
Chlolekinetica	90
Cholera-Vaccin	125
Choleretica	90
Choleretin	80, 91
Cholin	82
Cholinchlorat	89
Chylin	85
Ciba-Algin	51, 85
Ciba-Epinephrin	23
Cibalbumin	85
Citnatin	30
Citorium	30
Citral	30
Citrose	33
Clauden	32
Clavipurin	31
Coag-Rot	34
Coagulen	32
Coffein-präparate	2
Coffeinum-Natrium benzoicum	3, 16
Coli-Koktigen	125
Coli-Yatren	126
Comphormon	110, 111
Comsison	105
Comvarimon	105
Convalon	20
Coramin	11, 36
Cornidin	15
Corpus luteum-Hormon 113	
Cotarninium chloratum 7, 31	
Crysotan	142
C-Tamin	97
Cylotropin	71
Cymarin	20
Cystagen	27
D	
Dadogen	83, 89, 91
Dankern	49
Darmperistaltik anregend Mittel	89
Decholan	91
Descarol	41
Desinficientia	70
Detoxol	80
Dexflavin	73
Dexphorin	21
Dextrose-Calcium	65
Dextrose solution	21
Dial	47
Diacetylmorphinum	44
Diaphoretica	29
Digalen	18
Digifolin	18
Digiherton	18
Digilanid	18, 43
Digipuratum	18
Digitalis-präparate	16
Digitamin	18
Dihydroxycodain	44
Dihydro-Progynon-Benzoesäure-ester	113
Diphtheria-Anatoxin	132
Diphtherieantitoxin	120
Diphtherie-Fornovaccin 133	
Diplopneumococcus-serum	120
Discren	70
Dismetal	80
Dispargen	75
Diuretica	12, 25
Dopalpin	49, 56
Dormalgin	47
Drasmin	92
Dysenterieserum	121
Dysenterie-Vaccine	126
E	
Ebios	95
Ehramisol	133
Eiweissfreies Tuberkulin 126	
Eklumo	149
Eleclloid-Mercury	138
— -Tin	76
Electrargol	75
Eleclloid-Bismutum	140
Eleclloid-Silver	75
Electrocollargol	75
Elityran	98
Emetica	78
Emetinum hydrochloricum	92
Emetinum hydrochloricum-injection	92
Emol	78
Enarmon	110
Enasin	85
Endojodin	146
Enex	99
Enfusin	54
Enocal	69, 144
Enspamol	16, 36, 56
Entgiftungsmittel	79
Ephedralin	36
Ephedrin	29, 36, 83
Ephedrin Hydrochlorid Injunctio "Sankyo"	23
Ephedrin "Nagai"	23
Ephedrin-präparate	23
Ephedrinum hydrochloricum	8
Epheptol	37
Ephetonal	23
Ephetonin	23, 37
Epirenamin-präparate	8, 23, 30
Epithelkörperchen-präparate	99
Equinin	105
Ergoptol	31
Ergosterin	94
Ergot Aseptic	31
Erstin	85
Erycon	52
Eryosan	85
Erysipelin	120
Eserinum salicylicum	89
Eukodal	44, 89
Euphyllin	26
Eustaptin	31
Eutolmin	60
Evipan-Natrium	47
Evsin	103
Examin	71
Excitantia	9
Extrarenale Diuretica	21

F		sen-Vorderlappen-	Hexamethylentetramin . 70	
F. Papa-Atropin	37	Hormon 114	Hexatropin 71	
Fibrolysin	154	Gonadotropin . . 100, 114	Hexeton 15, 36	
Fiebermittel	38	Gonargin 126	Hexophan 52	
Fiebernarkotika	50	Gonocaltin 126	Himarsen 136	
Flavinin for injection . 74		Gono-Brocannon 126	Hinterin 31, 90, 101	
Flavinol	74	Gonokokkenvaccine . . 126	Hipophysin 3	
Follikel-hormon	112	Gonominis 127	Hipotobery 27	
Fornigen	54	Gonosarin 71	Histamin 77, 152	
Forton	110	Gonostagen 127	Histidin 77	
Fuadin	155	Gono-Urosamin 127	Histidinmonohydrochlo-	
Fukujinso	30	Gono-Yatren 127	rid 77	
Funktionsprüfungsmittel. 152		Gravitol 31	Histotoxin 85	
Furfurmin	95	Grelan 48, 52	Hodin 95	
G		G-Strophanthin 19	Homoflavin 74	
Gadamin	14	Gummi arabicum 25	Hormon 97	
Gamejodin	143	Gurgol 142	Hormonal 90, 103	
Gamelan	143	Gynandol 112	Hornephrin 103	
Gataphorin	14	Gynergen 31	Hustomatin 37	
Geburtin	101	H		
Gefäßkontraktionsmittel. 30		Haarmittel 154	Hydnol 149	
Gefäß-präparate 102		Haemisin 153	Hydonocarin 149	
Gelatina alba sterilisata		Haemojinal 153	Hygytol 138	
pro injectione 33		Hämorrhoidenheilmittel. 153	Hypokorin 100, 154	
Gelatina Calcii chlorati		Hämostatica 30	Hypophysen-Hinter-	
pro injectione 34		Hämostyptica 30	lappen-präparate . . .	
Galatin Sol	33	Harmin 61 83, 101, 107	
Geneglandol	111	— hydrochlorid 61	Hypophysen-präparate . 100	
Genermon M	110	Hectalin 74	Hypophysen-Vorder-	
Genesol	78	Heilmittel gegen Disto-	lappen-präparate . . . 100	
Genestyptol	112	matis, Schanker,	Hypophysin 24, 90, 101	
Gentropin	89	Lymphogranulomatosis	Hypotin 60	
Geramin	110	inguinalis usw 92	Hypoionica 27	
Giflon	140	Heilmin 102, 145	I	
Gitosan-Solution 52		Heilserum 115	Icoral 10, 20, 36	
Glukonsaure-Salze 67		Hepatoxin . 37, 49, 55, 103	Ictelmin 71	
Glukose-Kochsalzlösung		Heroinum (Diacetylmor-	Icterosan 91	
. 21, 24		phinum) hydrochlor-	Igrosin 138	
Glukose-präparate 21		icum 44	Iloglandol 99	
Glycal	68	Herurol 16	Imamicol 138	
Glyon	21	Herzerregungsstoff . 22, 102	Imido 152	
Gold-präparate 142		Herzmittel 14	Impfstoffe 123	
Gonacrine	74	Herzmuskelpräparate . . 102	Indigomin A.A. 152	
Gonadotropes Hypophy-		Herzstärkende und Atm-	Indoramin . 37, 40, 50, 145	
sen-Vorderlappen-		ungerregende Mittel . 9	Infusions-mittel 24	
Hormon 114		Hesaciramin 71	Injectio Natrii Citrici	
Gonadotropin . . 100, 114			Haemostasi "Sankyo" 34	
Gonargin 126				
Gonocaltin 126				
Gono-Brocannon 126				
Gonokokkenvaccine . . 126				
Gonominis 127				
Gonosarin 71				
Gonostagen 127				
Gono-Urosamin 127				
Gono-Yatren 127				
Gravitol 31				
Grelan 48, 52				
G-Strophanthin 19				
Gummi arabicum 25				
Gurgol 142				
Gynandol 112				
Gynergen 31				

欠

昭和11年11月15日 第1版發行
昭和12年11月30日 第2版發行
昭和15年2月23日 第3版印刷
昭和15年2月28日 第3版發行

對照注射藥便覽

定價 2.70



著者 フヂ 藤 井 尙 久
發行者 金 原 作 輔
東京市本郷區湯島切通坂町21番地
印刷者 須 藤 紋 一
東京市神田區錦町3丁目11番地
印刷所 三鐘印刷株式會社
東京市神田區錦町3丁目11番地

東京市本郷區湯島切通坂町21番地

發行所 株式會社金原商店

電・小石川4322・5903 振替口座東京24068

小賣部 東京市本郷區春木町3-24・電話小石川 3840 振替口座東京 3536

大阪店 京都店
大阪市西區江戸堀上通2-42 京都市上京區河原町通丸太町上ル
電・土佐堀2413振替口座大阪6463 電・上 4114 振替口座 京 都 1227

金澤醫大教授 醫學博士 古屋芳雄

醫學統計法の理論と其應用 第2版

社會、民族、學校衛生學、生物測定學は勿論其他の實驗醫學のあらゆる領域に亘つて其研究に「數」を取扱ぬものは殆んど絶無であらう。然るに我國には醫學者の座右に備ふべき統計書が殆んどないといふ實狀である。著者はこのために東西多數の統計書を渉獵參酌して出来るだけ系統的、且安易なる行論の方法を著述した。

規格判洋布 234頁 挿圖 51 ¥ 3.80 .14

醫學博士 藤井尙久

對症診斷より治療まで

内科學教科書を縦徑とすれば、本書は正に横徑を辿らんとするものである。即ち症候より歸納して診斷を下し、治療を論ぜんとするものである。而して其の診斷治療を述ぶるに當りて、内科的領域は勿論他科に屬するものに於ても充分之を涉獵し類症と鑑別對症をなし、治療に當りて實際的效果を直ちに得せしめんことを力め出来るだけ平易解說的に記述した。

内容を別けて、對症診斷と處方・診斷法提要・臨牀検査法・一般療法及び特殊療法・治療手技・對症藥劑別・藥局便覽診療の案とし、之に又臨牀上必要な諸項を附記した。

袖珍布 1100頁 三色別表 12葉 ¥ 6.80 .14

醫學博士 調來助

外科臨牀の爲に 4版

本書は診斷篇、畸形篇、損傷篇、炎症篇、肺癆篇、内臟篇、治療篇の七篇に分ち理論は一切省略し、臨牀上日常必要な事項はすべて摘録して夫々の部門に編入した。體裁も外科臨牀の實際を考慮して、ポケット型となし、その内容と俟つて全時全所に縦横に使進出来るものとした。

袖珍布 ¥ 5.50 .14

醫學博士 岩男督

内科・外科 産婦人科 腹部觸診の實際 5版

本書第四版に於ては胃癌の觸診所見と腸炎の警戒事項及び急性腸管閉塞の場合の腹部觸診所見等を専ら著者の臨牀實驗に基きて増補し、腹部觸診術及觸診成績、陥り易き誤診、胃腸肝脾腎、骨盤腹膜子宮輸卵管等の觸診術及其所見等凡そ腹部に於ける觸診は洩れなく蒐集した。

菊判洋布 挿圖 125 ¥ 3.60 .14

醫學博士 富士山

經濟處方集 2版

刻下の醫業難を打開するには先ず何と云つても治療費の低減であらう。併しその極端な低下は勢ひ類治粗廢に流れるのは當爲である。依て編者は此の見地より大衆と共にあらんとする醫師の爲局方藥を主とし之に國産品を配し經濟的に處方せんと本書を世に問ふ事とした。敢ておすすめる次第である。

袖珍布 ¥ 2.70 .10

醫學博士 古屋芳雄

醫學統計法の理論と其應用 第2版

社會、民族、學校衛生學、生物測定學は勿論其他の實驗醫學のあらゆる領域に亘つて其研究に「數」を取扱ぬものは殆んど絶無であらう。然るに我國には、醫學者の座右に備ふべき統計書の殆んどないといふ實狀である。著者はこの爲に東西多數の統計書を渉獵參酌して出来るだけ系統的、且安易なる行論の方法を考案した。

菊判洋布 235頁 挿圖 51 ¥ 3.80 .14

醫學博士 大谷彬亮

刺戟療法 第2版

本書第一版刊行後既に九年の星霜を閲す。その間刺戟療法も多少の進展を見たり。勿論之を以て満足すべきものに非らず。而して其の多少の進展と云ふは止血作用と共に刺戟療法に共通の鎮痛作用に関する學說と治癒能力増進法としての赤外線・肝臓照射を擧ぐべし。由來刺戟療法は患者自身の保有する治癒能力を基礎とするものなるが、此の治癒能力の消長に本療法の効果も左右する根元なり。今や本問題解決に關して曙光に接したるの感あるか聊か慰むるところありと云ふべし。勿論本問題は獨り刺戟療法のみならず總ての治療法にも深き關係を有するものなれば將來治療學上の重大問題となるべきものと信ず。若し本書にして此點に關して同學士の注意を喚起するを得ば著者の最も欣幸とするところなり。

菊判洋布 372頁 三色圖 3葉 ¥ 5.50 .14

醫學博士 八田善之進 醫學博士 蘆田光二

打診と聽診

如何なる臨牀家でも打診と聽診をしない醫師はないであらうそして種々雑多に遭遇する。臨牀家はその如何なる種類の雜音であるかを正確に診斷し以て最善の治療方針を定めなければならぬ。從來内科診斷學に記載されてある此種の説明は極めて簡單で實地臨牀に當つて不便を感ずる事が尠くない。殊にレントゲン診斷が発達してからともすれば打診聽診が等閑視され勝ちなのは最も遺憾と思ひ、この一小冊を醫家の診斷指針として送る。

菊判洋布 161頁 挿圖 92 ¥ 2.50 .14

醫學博士 山田詩郎

内科醫臨牀の爲に 第17版

もと「内科醫要諦」として博士が山田内科教室の新人醫局員及研究生の爲めに僅々三百部を印刷し教室員及希望學生に限つて頒與した所謂門外不出、内科醫寶典であつて勿論非賣品であつたものを特に懇めて之を公刊するに至つたものである。臨牀醫界既に定評の一書。

袖珍總革 455頁 挿圖 134 別表 35 ¥ 4.00 .06

月刊 診療と經驗 1ヶ月 ¥.50 半ケ年 ¥3.00 1ケ年 ¥5.50

内科醫治療の仕方 第6版

患者は常に性急である。その劇痛が一時でも速に治癒せんことを希望する。手取早く言へばそれは直ちに醫家諸賢の責任にかゝつて来る。即ち本書はこの要求を充すべく過去に於ける歴史的診療法などは一切除外した現行法で、一讀よく初學者もその診療法を修得し得らるゝようユニツクに書かれたるもの。

袖珍總革 476頁 ¥3.50 .06

醫學博士 入江英雄

實地醫家に必要なる

レ線検査法と患者の取扱方

レントゲン診断の巧拙は検査技術の要領に據る處が頗る多い。即ち症候を現すに最も好都合な状態に患者を持ち来すと云ふ事である。本書は、この意味に於て従來比較的顧みられなかつたレ線検査技術の要領と患者の取扱方に就て原則的な診斷注意事項を「何故斯くあるか」と云ふ點にまで涉つて簡明されたもの。

袖珍總革 130頁 挿圖22 ¥1.50 08

醫學博士 岩男督

内科・外科 腹部觸診の實際 第5版 産婦人科

本書第五版に於ては胃癌の觸診所見蟲様突起炎の場合の警戒事項及び急性腸管閉塞の場合の腹部觸診所見等を専ら著者の臨牀實驗に基きて増補し、腹部觸診術及觸診成績、陥り易き誤診、胃腸肝脾脾腎、骨盤腹膜子宮輸卵管等の觸診術及その所見等凡そ腹部に於ける觸診は洩れなく蒐集した。

菊判洋布 291頁 ¥3.20 .14

醫博 林春雄・醫博 稻田龍吉 監修

各科指導者執筆

常用藥劑の副作用及び中毒と其處置

- 醫師が投薬に當つて、其藥劑が該症狀に卓效ありと確認して居ても、患者に對して副作用の強いものであつたり、或は中毒を來たすもので有つたら、特種の場合を除いて之を用ふることを絶対避けねばならない。
- 副作用の判斷は時になかなか至難の業である。又それ丈一層醫家の努力と研究とが必要なのである。
- 本書は常用藥劑の副作用及び中毒並に其處置に就き専ら臨牀の實際に即して記載し各科に於ける藥劑はその治療作用によつて分類した尙ほ本書出版につき特筆したいのは、執筆者が孰れも學會の第一人者によつて編纂されたことで、その執筆者から見ても内容から見ても眞に空前でありまた絶後であらうと斷言し得る。

三三判洋布 433頁 ¥7.50 .22

週刊 醫界展望 1週 ¥.15 半ケ年 ¥3.80 1ケ年 7.30
旬刊 臨牀醫學講座 半ケ年 ¥5.00 1ケ年 ¥9.00

日本薬局方第五版ニヨル薬品極量表 (II)

Maximaldosen der Arzneimittel

nach dem japanischen Arzneibuch V (für Erwachsene)

(大人ニ對スル薬品内服1回及1日ノ極量, ㊦ハ毒薬。醫師其極量ヲ超エテ處方スル時ハ處方箋中薬品分量ノ下ニ注意標!ヲ附スベシ。)

薬品名	1回極量(瓦g) pro dosi	1日極量(瓦g) pro die
㊦Hydrargyrum bijodatum	0.02	0.06
赤色ヨード汞	0.1	—
Hydrargyrum chloratum	(皮下注射)	—
甘汞	0.1	—
Hydrargyrum chloratum vapore paratum	(皮下注射)	—
蒸氣製甘汞	0.02	0.06
Hydrargyrum jodatum	0.02	0.06
黄色ヨード汞	0.01	0.03
㊦Hydrargyrum oxycyanatum	0.01	0.03
オキシシアン水銀(青酸酸化汞)	0.02	0.06
㊦Hydrargyrum salicylicum	0.02	0.06
サリチル酸水銀	0.2	0.6
Jodoformium	0.2	0.6
ヨードホルム	0.7	2.0
Lactylphenetidinum	0.7	2.0
ラクチルフェネチジン	1.0	—
Liquor Epirenami hydrochlorici	(皮下注射)	—
鹽酸エピレナミン液	0.5	1.5
㊦Liquor Kalii arsenicosi	0.5	1.5
Liquor arsenicalis Fowleri	0.02	0.1
亞砒酸カリ液(ホーレル水)	0.02	0.1
Lobelinum hydrochloricum	0.02	0.1
鹽酸ロベリン	1.0	2.0
Methylsulfonalum	1.0	2.0
メチルスルホナール	1.0	3.0
Migraeninum ミグレニン	1.0	3.0
(Antipyrino-coffeinum citricum)	0.03	0.1
(クエン酸カフェインアンチピリン)	0.3	1.0
㊦Morphinum hydrochloricum	0.3	1.0
鹽酸モルヒネ	—	1.0
Natrium nitrosum	—	1.0
亞硝酸ソーダ	0.05	0.15
Oleum Chenopodii	0.05	0.15
ヘノボヂ油	0.15	0.5
㊦Oleum Crotonis	0.15	0.5
巴豆油	1.0	3.0
Opium pulveratum	1.0	3.0
阿片末	0.25	0.5
Phenacetinum	0.25	0.5
フェナセチン	0.25	0.5
Phenobarbitalum フェノバルビタール	0.25	0.5
(Acidum phenylaethylbarbituricum)	0.25	0.5
(フェニルエチルバルビツール酸)	0.25	0.5
Phenobarbitalum solubile	0.25	0.5
溶性フェノバルビタール		
(Natrium phenylaethylbarbituricum)		
(フェニルエチルバルビツール酸ソーダ)		

薬品名	1回極量(瓦g) pro dosi	1日極量(瓦g) pro die
Phenolum	0.1	0.3
石炭酸	0.001	0.003
㊦Phosphorus	0.001	0.003
黄燐	0.02	0.04
㊦Pilocarpinum hydrochloricum	0.02	0.04
鹽酸ピロカルピン	0.1	0.3
Plumbum aceticum	0.1	0.3
鉛酸鉛	1.0	3.0
Pulvis Doveri	1.0	3.0
ドーフル散	0.5	1.5
Resina Jalapae	0.5	1.5
ヤラッパ脂	0.5	1.5
Resina Pharbitidis	0.5	1.5
牽牛子脂	0.1	0.3
Rhizoma Scopoliae	0.1	0.3
ロート根	0.1	0.3
Santoninum	0.1	0.3
サントニン	0.0005	0.0015
㊦Scopolaminum hydrobromicum	0.0005	0.0015
ブロム水素酸スコポラミン	1.0	5.0
Secale cornutum	1.0	5.0
麥角	0.1	0.2
Semen Strychni	0.1	0.2
ホミカ	0.2	0.6
Spiritus jodi	0.2	0.6
ヨードチンキ	0.005	0.010
㊦Strychninum nitricum	0.005	0.010
硝酸ストリキニーネ	1.0	2.0
Sulfonalum	1.0	2.0
スルホナール	0.1	0.3
Tartarus stibiatus	0.1	0.3
吐酒石	0.5	1.5
Theophyllinum	0.5	1.5
テオフィリン	1.0	3.0
Tinctura Cannabis indicae	1.0	3.0
印度大麻チンキ	0.2	0.6
Tinctura Cantharidis	0.2	0.6
カンタリスチンキ	1.5	5.0
Tinctura Digitalis	1.5	5.0
ヂギタリスチンキ	1.5	5.0
Tinctura Opii	1.5	5.0
阿片チンキ	1.0	3.0
Tinctura Scopoliae	1.0	3.0
ロートチンキ	0.5	1.5
Tinctura Strophanthi	0.5	1.5
ストロファンツスチンキ	1.0	2.0
Tinctura Strychni	1.0	2.0
ホミカチンキ	0.1	0.30
Tropacocainum hydrochloricum	0.1	0.30
鹽酸トロパコカイン	1.0	—
Zincum sulfuricum	1.0	—
硫酸亞鉛		

50
441

50-441イ

1200501263924

終